

第49回(株)キッズステーション放送番組審議会議事録の報告

(令和5年3月開催)

放送法施行令第8条第3号イの規定に基づき、第49回放送番組に関する審議会が開催されました。その議事内容を下記にお知らせいたします。

記

- 開催年月日 2023年(令和5年)3月
- 開催場所 新型コロナウイルス感染対策として、各委員より書面でご意見をいただきました。
- 委員氏名 重村一、大宅映子、泊懋、中山雅葉子、脇田直枝、三枝成彰、内山隆(計7名)
- 議 題 「キャッチ!ティニピン」各13分 第1話から第4話について
放送日程: 2022年12月5日放送開始 毎週土曜日 11時30分～
- ・本作品の感想
 - ・本作品のターゲット4歳以上の女兒をメインターゲットに設定について
 - ・全世界に展開中の本作が日本の子供たちに受け入れられる可能性と数多くの女兒向けIP(玩具)の中で生き残れる番組であるか。
 - ・その他、表現やテーマ等でお気づきの点など。

参考)『キャッチ!ティニピン』

2020年から海外で放送されている幼稚園児や小学生低学年中心に人気の3DCGアニメです。女の子の好きな『お姫様』『妖精』『魔法』『癒し』など、ワクワクするキーワードがいっぱいつまっています。日本ではキッズステーションで2022年12月から日本初放送をしています。主人公は魔法の国のプリンセス・

ローミー。地球へ逃げ出しちゃった心の妖精〈ティニピン〉に関わる色々な事件を解決して、周囲の人々と交流を深め、成長していく物語。

各委員からのご意見まとめ

- CGの出来はさすがに素晴らしい。ただ、かつてはこの種の作品は日本の得意とするところであったと思う。特に少女漫画をベースにした「プリキュア」や「セーラームーン」は今でも制作放送されている。
- 顔自体は人形、動きは人間、という所が今までのアニメとは違う。
- ストーリーや展開のテンポも、子どもたちがついてきやすいようになっていると思います。
- ターゲットは4歳から。まだ読めない子たちのために漢字。文字などはもう少し大きく読みやすくしても邪魔にはならないと思うが。
- 吹き替えのセリフ回しや声のトーンの演出に関してはもう少し工夫があってもよかったと思う。
- 幼児向け作品はその国独自で作るべきと考えている。
- 番組の存在を広く子どもたちに知らせることができれば、玩具での展開も十分ありえると思いました。
- 作中のスケボーのヘルメットなども自転車に乗る際に必要な物なので、需要があるのでは。番組の表現基準は国によって少し違いがある。特に幼児子供向けはその点に留意が必要と考えて居る。この作品を否定はしないが注意が必要と思う。

ご意見を参考にした今後の対応

- 今回の審議会に出された意見については、編成担当及び番組制作者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な設置を講じるよう努めて参ります。

以上